

# 学校だより



令和5年(2023年)度

1月号

<教育目標> 楽しく 学び合い つながり合う 第七小学校 大阪狭山市立第七小学校

## 言葉の「意味」を知り、言葉の「力」を分かったうえで…

新しい年を迎えました。保護者や地域の皆さまには新しい年を穏やかに迎えられたことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

近年、子どもたちの様子を見ていて気になることがあります。普段自分たちが話したり、書いたりしている言葉ですが、意味を理解したうえで使っているのだろうか、心配になることがあります。いわゆる「軽いノリで」、「みんなも書いているから。話しているから。」という理由で、言葉の意味も考えず安易に使ってしまうと、誤解が生じるのではないかと思います。内容に関する誤解もありますが、気持ちに関する誤解も生じるのではないのでしょうか。言ったり書いたりした側には、悪気がなかったとしても、聞いたり読んだりした側は、深刻にとらえたり、不快な思いをしたり、傷ついてしまったりすることがあると思います。

よくアスリートが大会等で入賞した時のインタビューで、「応援していただいた皆さんの声援のおかげで、入賞できました。ありがとうございました。」とか、コロナ禍で無観客試合を行っていたころ、選手から「あらためて、声援のありがたさがよく分かりました。」という声が聞かれました。言葉の力ってすごいと思うのです。周りの人たちから励ましてもらったり、応援してもらったりすると、自分が持っている以上の力が発揮できることがあります。逆にマイナスの言葉が使われ続けていると、周りの環境や今後の結果がマイナスの方向に向かってしまうことがあります。古代日本では、言葉は「言霊（ことだま）」と言われ、言葉には不思議な力が宿っており、その力によって発した言葉通りの結果になると考えられ、言葉は大切にされてきました。

日本では、多くのすばらしい言葉が現在まで受け継がれており、多くの人たちによって、使われています。私たちが言葉を使って表現をするときには、使おうとしている言葉の「意味」を知り、言葉の「力」を分かったうえで、使ってほしいと思っています。現代は、技術の進歩でいろいろなものが新しく開発されて、便利な世の中になっています。今後は、現代の私たちによって、もっともっと素敵な新しい言葉が開発され、使われるようになり、次の時代へ素敵な言葉が受け継がれていくような、そんな穏やかであたたかな世の中になればと思います。

校長 平島 和